

図書だより

My Favorite Books

今回は、紙崎 薫 先生 です！

2018年 12月号
三島高等学校 図書委員会



=簡単な自己紹介をお願いします=

みなさんと話をしているときに、“先生の出身はどこですか？”と聞かれたときには、決まって“松山市だよ”と答えますが、本当は松山市のとなりの東温市というとても田舎なところの出身です。中学校まではそんな田舎の学校で過ごしていましたが、高校からは松山の学校に進学しました。高校生時代はとにかく部活動（硬式テニス）に全力で、毎日毎日勉強もせずひたすらラケットを振る日々でした。部活動を引退してからは勉強して大学に進学し、そこで物理学の奥深さと息抜きの大切さを学んで、理科教員として今に至ります。三島高校にももう慣れて、今は行けば何かしら笑わせてくれるみなさんの授業に行くのを楽しみにしながら、毎日を過ごしています。

=高校時代(大学時代)に感銘を受けた本を教えてください=

朝の10分間読書の時に偉そうに“しっかりと本を読みなさい”と言っておきながら、先ほども紹介させてもらったとおり高校生の時は部活動一筋だったもので、自分が高校時代に読んだ本は問題集と参考書以外覚えていません。なので、本来は高校時代に感銘を受けた本を紹介すべきなのですが、今回は自分が大学生の就職活動間近の時に読んだ本を紹介させていただきます。就活間近ということもあり、就活をテーマにした、『何者』（作：朝井リョウ）という作品です。みなさんは部活動やクラスの友人、先輩後輩、親友などの成功を素直に喜べますか？この本はそんな人間のリアルな心情を細かく描いています。まだまだ就職活動と言う言葉にはピンとこない人も多いと思いますが、ほとんどの人がいずれ通る道である「就職活動」、つまずいて前に進めなくなったときは息抜きがてらに読んでみてください。悩んでいるのは自分だけではないかもしれませんよ。

=みなさんに読んでほしい本を教えてください=

たくさんの種類の本を紹介すると、みなさんはどれを読んでみようかと迷ってしまうと思いますので、ここでは僕が一番読んでもらいたい作品を紹介させていただきます。『怒り』（作：吉田修一）…あまり言うとネタバレになってしまいますので深く掘り下げて紹介することはできませんが、人はどうしたら人を信じることができるのかを、とある殺人事件をきっかけに描いています。人を信じる気持ちは生きていく上でとても大切です。また、それが必ずしも自分の思っている展開になるとも限りません。ぜひみなさんも他人を信じられなくなったときに読んでみてください。

=三高生に一言！=

いろいろな本を読んでいればそれだけで知識になり、教養を深めることができます。また、こういったオフィシャルな場での話のタネにすることもできます。読書が苦手な人も少しずつでも良いので本を読んでみましょう。いつかきっと君たち自身の助けになると思います。

ご協力ありがとうございました！！

Book of the year 2018

今年も残り僅かとなりました。どんな本との出会いがありましたか？
今回は、今年の人気小説ランキングを紹介します！



1位 「下町ロケット ゴースト」 著/池井戸潤

2年半ぶりに帰ってきたシリーズ第3弾では、またも佃製作所に新たな試練が！製作所のシンボル、ロケットエンジン用バブルシステムの納入先である帝国重工が業績悪化、さらに番頭・殿村にある危機が訪れ…。ピンチをチャンスに変える不屈の精神がみなぎる傑作！



2位 「ファーストラヴ」 著/島本理生



3位 「未来」 著/湊かなえ

4位	あやかし草紙 三島屋変調百物語伍之続	宮部みゆき
5位	そして、バトンは渡された	瀬尾まいこ
6位	花だより みをつくし料理帖 特別巻	高田郁
7位	ののほな通信	三浦しをん
8位	魔力の胎動	東野圭吾
9位	屍人荘の殺人	今村昌弘
10位	オリジン(上・下)	ダン・ブラウン

図書室にもたくさん入荷されているので、借りに来てね♪♪

(1. 6. 9. 10位以外は図書室にあります！)

冬休みの図書館利用案内

12月21日(金)、25日(火)～28日(金) (補習後15:00まで)

暖かい部屋の中でじっくりと本を読み、
新たな気持ちで新年を迎えましょう！

